

TRIZのユーザを増やすにはどうすればいいか？に挑む ～ 宮城TRIZ研究会の独自開発ツール「智慧(ちえ)カード」～

石井力重(株式会社デュナミス/NEDO)、伊藤利憲(宮城県産業技術総合センター)

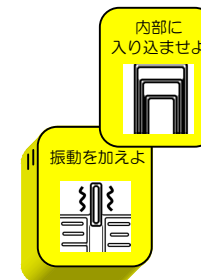
経緯

- 「TRIZが創造作業を促進するとはどういうことなのかを周りの人に理解してもらいにくい」という声。
- TRIZのエッセンスにあるものを使って、楽しく、手軽に、一定量の発想が体験できるツールの開発に着手。



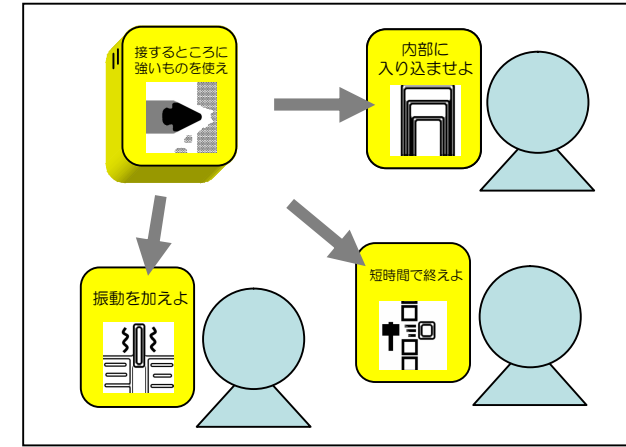
開発

- 40の発明原理を大きく意識し「智慧(ちえ)カード」という40枚のカードツールを開発。



ツールの用途

- チームでアイデア出しをするツールとして。
- 楽しくアイデア出しをするカードゲームとして。



ツールの効果

- 企業研修で、用いた感想
 - 「**苦勞した**」が圧倒的に多く、ついで多いのが「**使いやすかった・楽しかった**」であった。
 - 一方で、7割以上が「**TRIZは自分の職務に使えるそうだ・使える**」と感じた。
 - このツールが向いていると感じたのは「**製品企画や開発、新しいアイデアを得る場面**」など。